

ハリケーン・カトリーナにおける 雇用対策・雇用支援

Vol. XI, No. 1

2011年3月11日に発生した東日本大震災によって日本は甚大な被害を受けた。このような未曾有の災害からの復興には安定した収入とそれを支える雇用が不可欠となるが、大震災によって多くの人が仕事を失うという状況が発生している。被災・避難者を対象とするきめ細やかな雇用対策が政府の緊急課題だ。

ここでは2005年8月にハリケーン・カトリーナがアメリカ南部の湾岸地域を襲った際に、政府や民間企業がどのような雇用対策を講じたかを簡単に紹介し、日本における今後の雇用対策に関する議論につなげることができればと思う。

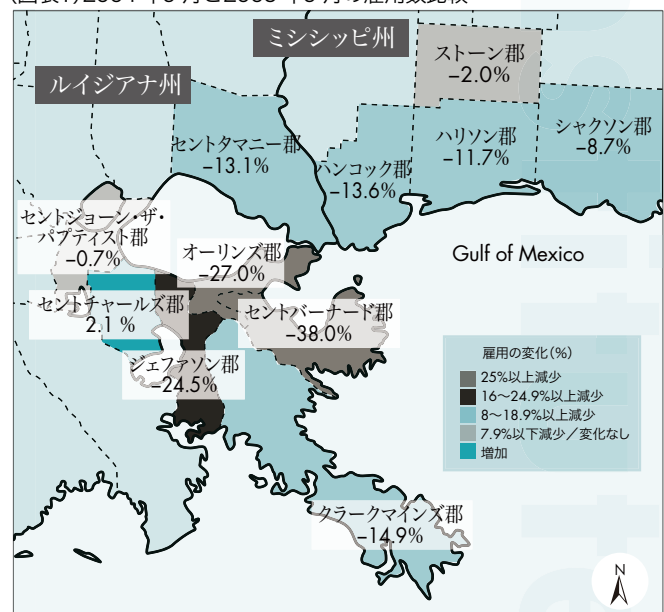
ハリケーン・カトリーナは、2005年8月下旬にメキシコ湾で発生し、同月29日にアメリカの湾岸地域を襲った。ハリケーンとしては過去最大の経済的被害をもたらしたといわれ、実際のハリケーンとその後の洪水で亡くなった人の数は1800名以上、損害額は81億ドル以上とされる。特に被害が大きかったのはルイジアナ州とミシシッピ州だが、テキサス州やアラバマ州など多数の州にも被害が及んだ。このハリケーンによって150万人以上が影響を受け、80万人以上が他の地域に一時的に避難した。以下では、ハリケーン・カトリーナ発生後にアメリカ政府が行った雇用対策、民間による雇用支援、ならびに官民協力しての雇用支援についてレポートする。

アメリカ労働省における雇用対策

ハリケーン・カトリーナがアメリカ南部の湾岸地域における雇用に与えた影響は1年間の雇用数の変化によって判断することができる。図表1に示すように、2005年9月のルイジアナ州セントバーナード郡の雇用数は前年同月比で40%近く減少した。近隣のジェファソン郡およびオーリンズ郡でも25%前後減少している。ミシシッピ州のジャクソン郡、ハリソン郡、ハンコック郡における同月の雇用も9%から14%程度減少した（前年同月比）。

アメリカ労働省は、ハリケーン・カトリーナの影響で職を失った人を支援するためにさまざまな対策を講じている。

(図表1)2004年9月と2005年9月の雇用数比較



(出所: Bureau of Statistics, Quarterly Census of Employment and Wages.)

(1) 助成金の支給

ハリケーン・カトリーナの発生から約 1 週間後の 2005 年 9 月 5 日、アメリカ労働省はルイジアナ州とミシシッピ州でハリケーン・カトリーナの影響によって失業した 37,500 名以上を支援するために総額 7,500 万ドルを上限とする全国緊急助成金 (National Emergency Grants、以下NEG) を支給すると発表した。

ルイジアナ州に隣接するテキサス州は被災した失業者を避難先として受け入れたため、同助成金はテキサス州が避難者に住居と雇用先をすばやく提供することを目的として使われた。

また、労働省はハリケーン・カトリーナの被害を受けた州に対して、被災者のために食糧、衣類、避難場所、および人道的支援を提供する人員の雇用を目的とする助成金を提供すると発表し、ルイジアナ州に対して 総額 6,210 万ドルを上限とする、ミシシッピ州に対しては総額 5,000 万ドルを上限とする全国緊急助成金 (NEG) の支給を決めた。これらの助成金は、失業者に清掃作業等の一時的な仕事を提供するために使われた。

労働省はハリケーン・カトリーナ発生直後から 2007 年まで継続して、被害を受けた州や避難者の雇用を支援する州に全国緊急助成金 (NEG) を支給した (図表 2)。

(図表 2) アメリカ労働省が支給した全国緊急助成金 (NEG)

州	プロジェクト名	金額
2005 年 1 月 1 日～12 月 31 日		
アラバマ	ハリケーン・カトリーナ	\$1,333,333
アラバマ	ハリケーン・カトリーナ	\$2,000,000
アーカンソー	ハリケーン・カトリーナ避難者	\$3,000,000
フロリダ	ハリケーン・カトリーナ避難者	\$3,000,000
ジョージア	ハリケーン・カトリーナ避難者	\$3,000,000
ケンタッキー	ハリケーン・カトリーナ避難者	\$1,100,000
ルイジアナ	ハリケーン・カトリーナ	\$20,700,000
ルイジアナ	ハリケーン・カトリーナ	\$5,000,000
ミシシッピ	ハリケーン・カトリーナ	\$16,666,666
ノースカロライナ	ハリケーン・カトリーナ避難者	\$3,000,000
オクラホマ	ハリケーン・カトリーナ避難者	\$1,300,000
テネシー	ハリケーン・カトリーナ避難者	\$500,000
テキサス	ハリケーン・カトリーナ	\$8,500,000
テキサス	ハリケーン・カトリーナ	\$15,000,000
2005 年合計		\$84,099,999
2006 年 1 月 1 日～12 月 31 日		
アラバマ	ハリケーン・カトリーナ	\$666,667
ルイジアナ	ハリケーン・カトリーナ	\$31,400,000
ルイジアナ	ハリケーン・カトリーナ	\$5,000,000
ミシシッピ	ハリケーン・カトリーナ	\$33,333,334
ミシシッピ	ハリケーン・カトリーナ	\$13,359,354
テキサス	ハリケーン・カトリーナ	\$5,000,000
テキサス	ハリケーン・カトリーナ	\$46,500,000
テキサス	ハリケーン・カトリーナ	\$13,359,353
2006 年合計		\$148,618,708
2007 年 1 月 1 日～12 月 31 日		
ルイジアナ	ハリケーン・カトリーナ/リタ	\$10,500,000
ミシシッピ	ハリケーン・カトリーナ	\$31,640,646
		\$42,140,646
2005 年～2006 年総計		\$274,859,353

*2005 年 1 月 1 日から 2007 年 12 月 31 日までに支給された助成金でハリケーン・カトリーナ関連のものだけを抜粋。
(出所:アメリカ労働省ウェブサイト http://www.doleta.gov/neg/cy_awards_2005.cfm)

(2) 災害失業支援 (DUA)

ハリケーンの被災者は災害失業支援 (Disaster Unemployment Assistance, 以下DUA) の申請をすることができる。災害失業支援 (DUA) の目的は、大災害を直接的な原因として雇用 (自営含む) を失ったり中断

されたりした際に、通常の失業保険給付を受ける資格のない個人に対して、金銭的援助を提供するものである。災害失業支援 (DUA) は、大統領の災害宣言があった時点で、災害発生時に災害を受けた場所で生活をしていて、働いていた、あるいは働くことを予定していた、

および、災害によって仕事や職場を失い、あるいは職場に行けない、職場が被害を受けたために働けない、災害によって怪我をしたため働けない、失業者または自営業者に対して適用される。支給期間は災害支援期間のみで、大災害発生日の翌週初めから始まり、最高 26 週間である。給付額上限（週当たり）は、災害発生時の失業補償を定める各州法による。ただし、最低支給額（週当たり）は州に定める平均給付額の半額(50%)である。

(3)ハリケーン復興ジョブ・コネクション

アメリカ労働省はハリケーン・カトリーナによって被災した労働者を求人企業につなげる特別のウェブサイト (<http://www.jobsearch.org/katrinajobs>) を開設して、被害地域の清掃業務に関する採用などを支援した。なお、同ウェブサイトはすでに閉鎖されている。

(4)「雇用への道」イニシアチブ

アメリカ労働省は、2005 年 9 月 30 日からハリケーン・カトリーナ被災・避難者の自立を目指し、個別対応したカウンセリングと支援の提供を開始した。このイニシアチブは以下の 3 つのアプローチからなる。

①経験豊かな再統合キャリア・カウンセラーを被災・避難者が集中している被災地や転居地に派遣する。

再統合キャリア・カウンセラーをハリケーン・カトリーナの被災者集中地域に 6 カ月間派遣し、必要に応じて被災・避難者と雇用・支援サービスをつなげるサービスを提供した。被災・避難者数の多い地域では、複数のカウンセラーの助成を受けることができた。

②専門的な訓練を受けた専門家が障害者の職探しと必要なサービスの支援を提供する。

障害者支援の一環として、労働省は障害プログラム・ナビゲーター (Disability Program Navigator) をハリ

ケーンの影響を受けた州に派遣した。

③ハリケーンの影響を受けた若年者 4,000 人(上限)に、ジョブコア・プログラムを促進し、移住支援を行う。

16 歳～ 24 歳の経済的に不利な立場にある若年者(上限 4,000 人)に、奨学金と併せて、教育と衣食住を提供した。

民間企業による雇用支援例

(1) アデコUSA

派遣会社大手のアデコUSA は、ハリケーン・カトリーナによって失業した人の職探しを積極的に支援した。同社は、2005 年のハリケーン発生後ただちに全社規模のイニシアチブを立ち上げ、求職活動のための設備を備えたアデコ・モバイル・キャリア・センターをアメリカ南部の複数の州に設置した。また、食糧、衣類に加えて、職場までの輸送手段を求職者に提供すると同時に、多くの企業がアデコのイニシアチブに賛同を呼びかけた。この実践的なアプローチにより 500 人以上の被災・避難者が雇用に就き、生活再建への道を開くことができた。

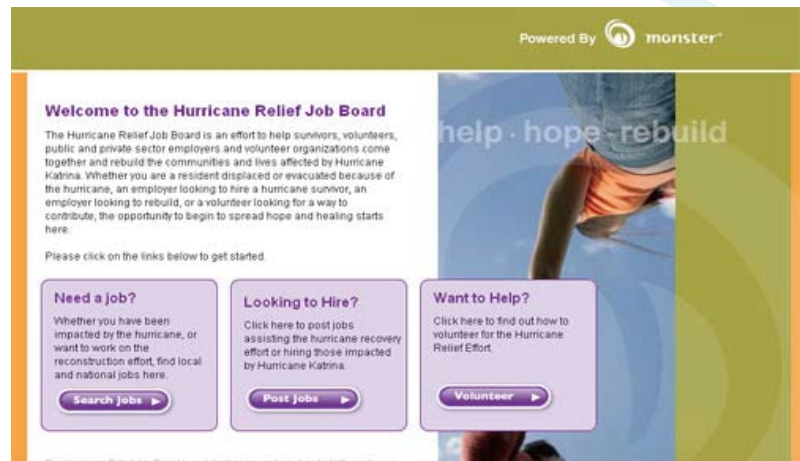
このときの貢献が認められ、アデコUSA のジョイス・ラッセル最高執行責任者は女性ベンチャー基金 (Women's Venture Fund) から表彰を受けた。

(2) モンスター

モンスターは、ハリケーン・カトリーナ発生直後に、被災者、ボランティア、民間や公共セクターの雇用主、ボランティア団体のための無料求人求職サイトを開設した (hurricanerelief.monster.com)。開設した日から 500 社以上の求人企業から、プログラマー、アナリスト、医療職、大工、クレーン運転者といったさまざまな職種の求人が掲載された。

サイト上には、ボランティア団体の一覧や被災者が交流し互いを励まし合うための掲示板が設けられており、被災者が職を見つけ生活を立て直すために必要なステップを踏めるよう、専門家によるアドバイスや記事も掲載された。

また同ウェブサイトを利用する求職者は、履歴書作成といったモンスターのオンラインツールも無料で利用することができた。



ハリケーン・カトリーナ発生後にモンスターが開設していたウェブサイト
hurricanerelief.monster.com（現在は廃止）

官民協力支援例

マンパワー

マンパワーはハリケーン・カトリーナ発生前から各州政府の労働力システムと協力し、被災・避難者へ雇用支援を提供し、官民協力システムを構築していた。そうした信頼関係のもと、ハリケーン・カトリーナ発生直後にマンパワーは労働省から打診され、ミシシッピ州雇用保障局と協力して、被災・避難者の雇用支援のためのプログラムを開発した。同プログラムのもと、被災・避難者の特定を行うとともに、雇用や訓練先を紹介し、移住先の提供も行った。

当時の経験が生かされ、マンパワーとミシシッピ州ワinstoppセンターでは継続的に協力して求職者にサー

ビスを提供するプログラムが構築された。

現在ではこのプログラムを使って、求職者のエンプロイアビリティ査定を行い、必要があれば追加的なスキル開発を行ったり、「マンパワー認定」という資格をもつ人には「キャリア・パスポート」を発行したりしている。「キャリア・パスポート」は、査定結果が十分であった場合に発行され、職歴、査定・訓練実績、相応しい役職に関する提案などが明記される。キャリア・パスポートは、求職者が自分たちで職探しをするときのマーケティング・ツールとしての役割を果たし、また、企業が採用に関する決定を効果的に行ううえでのプロフィールとしての役割も果たす。

<参考資料>

アメリカ労働省ウェブサイト

ハリケーン復興支援 <http://www.dol.gov/opa/hurricane-recovery.htm>

雇用への道イニシアチブ <http://www.dol.gov/opa/media/press/eta/archive/eta20051850.htm>

その他ハリケーン・カトリーナ関係のニュースリリース（各州の情報含む） <http://www.dol.gov/opa/hurricane-recovery-releases-archive.htm>

労働市場への影響に関するレポート U.S.BLS, "The labor market impact of Hurricane Katrina: an overview," The Monthly Labor Review, Vol. 129, No. 8, (2006).

<http://www.bls.gov/opub/mlr/2006/08/art1full.pdf>

アデコ USA の雇用支援に関する情報

<http://www.adecco.com/SocialResponsibility/FoundationsAndNon-ProfitActivities/Pages/Non-ProfitCommitments.aspx>

[http://www.adecco.com/articles/Chief-Operating-Officer-of-Adesco-Receives-\"Highest-Leaf\"-Award.html?id=50&url=/pressroom/pressreleases/pages/forms/allitems.aspx&templateurl=/AboutUs/pressroom/Pages/Press-release.aspx](http://www.adecco.com/articles/Chief-Operating-Officer-of-Adesco-Receives-\)

マンパワーの雇用支援に関する情報 <http://www.thebreakingnews.com/files/articles/manpower-rebranding.pdf>

モンスターの雇用支援に関する情報 <http://www.informationweek.com/news/170703568>

<http://www.tmp.com/articles/monster-launches-hurricane-katrina-job-board/28/>